

1 1 圏域別グループディスカッションの実施結果

1 目的

- ・ 地域に根付いて活動している団体の方々から地域における課題と課題解決のためにできることを把握し、地域における住民主体の課題解決力強化の方向性を検討するため
- ・ また、府中市全体の課題と圏域別の課題を整理するため

2 実施概要

参加者	地域で活動している次の7つの団体の方(11文化センター圏域ごとに各団体から2人ずつ) 民生委員・児童委員、自治会・町会等、シニアクラブ、ふれあいいきいきサロン運営者、コミュニティ協議会、わがまち支えあい協議会、地域福祉コーディネーター
テーマ	あなたが住んでいる地域のこれからを考えませんか？ ①地域の課題(困っていること、課題を抱える人・世帯) ②課題を解決するために地域でできること
開催回数	4回(文化センター11圏域を2～3圏域ずつ開催)、1回2時間程度
実施手法	○1つの圏域につき、7人のグループを2つ作り、グループディスカッション形式の懇談会を実施 ○2圏域同時開催の場合は計4グループ、3圏域同時開催の場合は計6グループ ○KJ法でまとめ、最後に各グループの意見を書き出した模造紙を貼り出し結果共有
当日配布資料	・次第 ・圏域別データ ・参加者アンケート 等

3 日程・会場・参加者数

回	開催日時	会場	対象圏域	参加者数
第1回	10月26日(土) 9:30～11:30	府中市役所 3階会議室	白糸台文化センター圏域、 押立文化センター圏域	24人
第2回	10月27日(日) 14:00～16:00	府中市役所 3階会議室	中央文化センター圏域、 新町文化センター圏域、 紅葉丘文化センター圏域	38人
第3回	11月9日(土) 14:00～16:00	教育センター	住吉文化センター圏域、 是政文化センター圏域、 四谷文化センター圏域	34人
第4回	11月10日(日) 9:30～11:30	府中駅北第2庁舎 2階会議室	西府文化センター圏域、 武蔵台文化センター圏域、 片町文化センター圏域	39人
計				135人

4 当日の内容（各回2時間）

1. 開会、趣旨説明、あいさつ（5分）
2. データ説明、予定とルール説明（10分）
3. グループごとの時間（75分）
 - （1）グループごとの自己紹介（15分）
 - （2）グループごとの話し合い①：地域の課題（困っていること、課題を抱える人・世帯）（30分）
 - （3）グループごとの話し合い②：地域の課題を解決するために地域でできること（30分）
4. 休憩（10分）
5. 結果共有（15分）
6. 閉会、アンケート記入（5分）

5 話し合いの結果（地域別）

(1) 地域の課題（困っていること、課題を抱える人・世帯）

地域	地域別の意見	複数地域から出た意見					全ての地域から出た意見
		交流・居場所の不足	交通の便が悪い	買い物が不便	支援が必要な世帯がある	マナーが悪い	
白糸台	・活動の圏域が異なる ・地域、団地・団地商店街の活性化が望まれる	—	—	—	・ひとり親家庭の問題	—	◆地域のつながりの希薄化 ・近所づきあいが希薄 ・地域交流、つながりが少ない ・地域の結びつきが弱くなっている ・新しい人と昔からいる人のつながり ・世代間のつながりの不足 ◆地域の人がわからない、情報共有が課題 ・個人情報の壁がある ・住んでいる世帯の実態がわからない ・孤立している人の情報が入ってこない ・困っている人がどこにいるかわからない ◆地域の担い手不足 ・地域活動の担い手が少ない ・担い手の高齢化 ・リーダーがいない、リーダーの負担が大きい ・若い人、男性の参加が少ない ◆自治会・町会等への加入者の減少 ・自治会・町会加入者が少ない ・若い世帯の自治会・町会加入が課題 ・自治会・町会機能の低下 ・自治会・町会同士の連携、他団体との連携 ◆高齢の単身者や高齢者のみの世帯増加と見守り・支援の課題 ・見守りが課題 ・ひとり暮らし、夫婦のみ世帯の増加 ・認知症の方の把握・見守りが必要 ◆子どもの居場所・遊び場が少ない、見守りが必要 ・子どもが少ない、遊び場が少ない ・子どもの居場所が少ない、安全確認が重要 ・子どもの登下校の見守りが少ない ◆防災対策、災害要援護者の課題 ・防災対策、水害対策(はげ下) ・災害に対する不安、災害時の避難が課題 ・防災対策、訓練が少ない ・災害弱者への対応 ◆空き家の増加 ・空き家が増えている ・草木の手入れができていない家がある ◆道路が危険 ・道路(道幅)が狭い ・バリアフリー化が急務、車いすが通れない ・道路の不整備(狭い道路が多い等)
押立	・調布市と入り組んでいるので、調布市の人とつながる必要もある ・様々な福祉の問題の相談先がわからない ・行政の行事が多い、行政が縦割りで困る	—	・陸の孤島、交通の便が悪い	—	・親に依存、8050問題、ひきこもりの方	—	
中央	・地域行事に騒音のクレームがある ・地域が広い	—	—	・買い物が大変	・ひとり親家庭の増加 ・とじこもり・ひきこもりの方	・マナーが悪い(ペット、ゴミ捨て)	
新町	・周りの自治会・町会との交流がない ・子育て支援が必要	・介護の息抜きの場がない ・地理的課題(集まる場所が少ない)	・交通の便が悪い	—	・ひきこもりの人がある	・外国人が多く、ゴミ捨て等のマナーで課題 ・公園等への不法投棄、夜間の公園での騒音	
紅葉丘	・病院が少ない ・行政が発信する情報がわかりにくい(広報、HP等) ・高齢者を優遇してほしい ・文化講座等があるとよい	—	・交通の便が悪い、市の中心部に行くのが大変	・お店がない(スーパー、コンビニ、個人商店)、買い物が不便	—	・マナーが悪い(ペット)	
住吉	・文化センターの活用(自由に使える、子どもの見守りをする等) ・地域活動に参加しにくい人への対応(障害者、男性等) ・社会福祉の充実、仕組み(民生委員一人では難しい)	・地域の人交流できる場所が少ない	—	—	—	—	
是政	・自治会の負担が大きい ・民生委員の活動がよく分からない ・自治会・町会、シニアクラブ、民生委員の連携ができていない ・文化センターが遠すぎる、エリアが広い	—	・交通の便が悪い、交通網の不足	—	—	・競艇場に来る人のマナー	
四谷	・農業者の高齢化・後継者不足、農地の手入れがされていない ・公共施設が高齢者向きに造られていない ・再犯防止の取組、被害者支援も同時	・サロン(居場所)が少ない、サロン参加者が限定的 ・精神疾患を抱えた人の集う場所がない	・交通の便が悪い	—	—	—	
西府	・学区と福祉の担当エリアが異なり行政対応の課題がある ・交通ルールが守られていない	・若年性認知症、精神疾患の方の居場所がない	・交通の便が悪い(南北を移動する足がない、踏切が多い、坂)	—	—	—	
武蔵台	・文化センター圏域と学区がばらばら	—	・交通の便が悪い	・店が少ない(生活用品等)	—	・マナーが悪い(主にペット)	
片町	・集合住宅と戸建の意識の差、住民の交流 ・ゴミ屋敷 ・「無視」する人がいる(出てこない、居留守)	—	—	—	・ひとり親家庭 ・ひきこもりの方 ・体が不自由な人が増えていて手伝いが必要	—	

(2) 課題を解決するために地域でできること

地域	交流・居場所づくり	見守り・生活支援	情報提供・共有の仕組みづくり	担い手の確保・育成	自治会・町会の活性化(団体同士の連携)	行事・イベント	高齢者支援等	子ども・子育て支援等	防災・災害時対応	資源の有効活用(空き家活用)等
白糸台	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流の機会を増やす 気軽に立ち寄れる場所をつくる(大人サロン) 誰でも(子どもも)来れる場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で行う安全の強化(夜道の見守り、安全パトロール) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の知らせ方の工夫(文化センターに掲示等) 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の担い手の募集、探す いろいろな方法を使った担い手づくり(活動団体同士の連携、有償ボラの検討、新しい人が入りやすく) 	—	<ul style="list-style-type: none"> 住民同士の交流イベント 高齢男性向けのイベント 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者との交流、見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の災害対策(病院、スーパーとの連携) 防災教育 防災の情報提供の深化 防災のルール・人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・行政が連携した空き家対策
押立	<ul style="list-style-type: none"> 近所と仲良くする、交流、助け合いの気持ちを持つ 住民間の交流の場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 押し付けにならないお節介 気軽な相談の場づくり、困りごと相談会の常設化 相談機関から専門機関につなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換の場づくり 	—	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や様々な団体によるあいさつ部隊 団体同士の連携、チーム化、まずは定例会議 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の活性化 子育て世代、若い世代向けのイベント、地域に無関心な層を魅了するイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの方へのアプローチ 	—	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策、避難方法の工夫・避難手段の確保、安否確認の工夫 	—
中央	<ul style="list-style-type: none"> 声かけ、あいさつ 横とのつながりをこつこつ作る 居場所づくりを進める 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会など近くで支え合う仕組みを広げる、まずはあいさつから! 見守りしやすい体制づくり 見守り活動支援員の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の支え合いの情報を伝える、シニアクラブのPRを行う 	—	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の活性化、支え合い活動 入りやすい自治会づくり マンションの管理組合と協力する 自治会と社会福祉団体との連携 	—	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が楽しく動けるようにする 	—	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に情報をわかりやすく伝える、対策について啓発する 災害弱者が避難しやすい場所をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策を充実させる 公園を遊びやすくする、整える
新町	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、声かけ、パトロール 多様な居場所をつくる(食事、多世代、いつでもだれでも、空き家活用、公園活用) 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板の手渡し、安否確認 人材バンクを活用してちょこつと支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域情報の発信 地域の情報共有ができる場所をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 人材バンクをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会で相談し合う 自治会での助け合いを周知する 自治会運営の活性化(IT化、役員費支給等) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事の活性化(運動、フリーマーケット、運動会) 交流を進める(イベント、お祭り) 	—	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂・学習支援、たまり場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 防災、災害時の情報共有の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家活用 移動手段の確保(バス、福祉施設への送迎バス)
紅葉台	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 地域の親善化、地域の人同士の顔の見える関係づくり、あいさつ、行事 文化センターを使いやすくする(飲み食い自由等) 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物ツアー、買い物・代行 移動スーパー、巡回スーパー実現 病院への送迎 住環境、見回り隊、パトロール隊 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会エリア内での情報入手 地域情報を集約してスマホで見ることができるようになる(自治会・町会、市報含めて) 	—	<ul style="list-style-type: none"> 地域の催し物で自治会・町会に興味を持ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 出入り自由のイベント 住んでいる道をきれいにする 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の見守り、食事会、交流会 図書館に高齢者目線 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂、子どもが喜ぶイベント 児童館の充実 文化センターを使いやすくする(中高生に向けた夜間開放) 	<ul style="list-style-type: none"> 防災の勉強会 災害時のための地域の連絡網 	—
住吉	<ul style="list-style-type: none"> 近所での声かけ、あいさつ 自由に使える拠点(文化センターで子どもと高齢者の交流等) 	—	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の壁→地域の仲間に入れない方々のケア 誰が住んでいるか、困りごとを抱えているか情報共有 地域のニーズを拾う(アンケート、話聞く) 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人を巻き込む多様な活動 後継者、子ども向けの行事・イベントで親を巻き込む 後継者、リタイヤした人に声をかける 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の団体同士の連携 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けの行事・イベントで親を巻き込む 	—	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂・フードバンク 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町会、マンション内で災害時の対策チームをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 集会所(空き家活用、自治会館の使用)

地域	交流・居場所づくり	見守り・生活支援	情報提供・共有の仕組みづくり	担い手の確保・育成	自治会・町会の活性化(団体同士の連携)	行事・イベント	高齢者支援等	子ども・子育て支援等	防災・災害時対応	資源の有効活用(空き家活用)等
是政	<ul style="list-style-type: none"> 地域の交流の機会(盆踊り、料理教室、子ども食堂、清掃、カフェ) 文化センターを使いやすくする(決まりを変える) 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ拾いの子ども中心の部隊を作る 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に参加しやすくなるように、気軽に行けることを広報 個人情報の取扱いを柔軟にする 	—	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の活性化(お試し加入、楽しい行事、活動紹介チラシ、集合住宅への誘い) 自治会・町会、シニアクラブ、民生委員の連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも参加できる地域包括支援センターの事業 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者支援の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後の子どもの居場所づくり 学校・PTAの連携強化 いじめをなくす教育をする 	<ul style="list-style-type: none"> 防災(災害時の地域行動計画の策定、市との連携) 	—
四谷	<ul style="list-style-type: none"> 普段からコミュニケーションの深化 新旧住民の交流 交流の場・地域の居場所をつくる(交流・サロン、介護予防) 地域の人たちが地域の課題を解決するための拠点が必要 福祉施設との普段からの交流 	—	<ul style="list-style-type: none"> 地域の身近な課題が集約される仕組みづくり 情報交換の場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域組織の人材活用 新旧人材の入れ替わり、古い組織が変わることが大事、人 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の場・地域居場所をつくる(自治会活動) 	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 災害の知識を広げる 災害時の助け合い(情報伝達、ひとり暮らしの方の連絡、回覧等で情報共有、顔の見える関係づくり) 	—
西府	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 住民のつながりの強化、新住民と旧住民の交流の場づくり 拠点づくりの強化(課題を話し合う拠点、自治会館、公園等) 	<ul style="list-style-type: none"> 助け合いができる雰囲気づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化(自治会・町会、民生委員、シニアクラブ、地域包括支援センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 担い手育成 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会用相互連絡ツール 自治会への加入促進 各種団体の横の連絡網 	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 地域で見守る(危険箇所、登下校時) 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に使える連絡網、災害時のための個人情報の整理 災害時対応(防災無線改善、伝達手段、避難場所見直し) 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家活用 ちゅうバスのルート等の見直し 道路のバリアフリー化
武蔵台	<ul style="list-style-type: none"> 今ある(子育て期)のつながりを継続する サロン活動、活動の広報、食事会 	<ul style="list-style-type: none"> 見守りネットワーク 困りごとに対するちよつとしたお手伝いからつながりをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧での情報共有 	—	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の活性化(役員・やり方の工夫) 	—	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしについて見守り活動 各機関のつながり 	—	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策、地域による対応の細分化と情報の伝達 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家活用(高齢者食堂) 交通の便をよくする(バス)
片町	<ul style="list-style-type: none"> 声掛けと近所づきあい コミュニケーションの活性化、あいさつ 多世代が交流できる居場所づくり 公共施設を使いやすくする(文化センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとのちよつとしたお手伝いをする、できることをリスト化する 安全な環境をつくる、防犯パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板の工夫 困ったこと、地域の情報を共有する(共有する場づくり、相談先と関係機関のリスト化、わかりやすい情報提供) 道路状況の把握 	—	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に入りやすくする 自治会内にボランティア組織をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が交流できるイベント 自治会・町会行事に企業の参加を依頼する 地域活動参加にメリットを付加、野菜や生活用品の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者のための居場所づくり 高齢者の見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で子どもの安全を見守る(夜間見守り、地域パトロール) 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練 避難場所について大きな建物(企業等)に協力してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家を活用する

6 話し合いの結果（分野別）

※前述のとおり分野横断的に様々な意見が出されましたが、特に福祉計画に関係する分野に係ることを記載します。

分野 テーマ	高齢者		障害者		子ども・子育て	
	地域の課題	課題解決	地域の課題	課題解決	地域の課題	課題解決
白糸台	・高齢化による心配ごとが多い(ひとり暮らしなど)	・高齢者との交流、見守り	—	—	・子どもの居場所が少ない、安全確認が重要 ・母子・父子家庭の問題	・子どもの見守り ・誰でも(子どもも)来れる場所づくり
押立	・ひとり暮らし、高齢者だけの世帯の増加、移動の課題、認知症の方	・ひとり暮らしの方へのアプローチ	—	—	—	—
中央	・高齢者の増加、ひとり暮らし、認知症の方など多くの課題 ・見守り活動が必要(子ども、高齢者)	・高齢者が楽しく動けるようにする ・見守りしやすい体制づくり ・見守り活動支援員の増加	—	—	・見守り活動が必要(子ども、高齢者) ・子どもの遊び場(公園)が少ない ・母子・父子家庭の増加	・見守りしやすい体制づくり ・見守り活動支援員の増加 ・居場所づくりを進める ・公園を遊びやすくする、整える
新町	・民生委員でもひとり暮らし高齢者の情報がない ・防災対策、災害時の高齢者支援 ・ひとり暮らし高齢者が増加、心配、見守り活動の不足、緊急時対応 ・介護の息抜きの場がない	・多様な居場所をつくる(食事、多世代が集まれる場所、いつでもだれでも、空き家の活用、公園の活用、地域の情報共有ができる場所) ・防災、災害時の情報共有の工夫	—	—	・子どもの安全対策 ・子育て支援が必要(双子・三つ子)	・声かけ、パトロール
紅葉台	・高齢化で心配(ひとり暮らし) ・高齢者を優遇してほしい	・高齢者の見守り、食事会、交流会 ・図書館に高齢者目線 ・買い物ツアー、買い物支援・代行 ・移動スーパー、巡回スーパー実現 ・病院への送迎	—	—	・地域のつながりが希薄(新しい人と昔からいる人、子ども会参加者減少)	・子ども食堂、子どもが喜ぶイベント ・文化センターを使いやすくする(中高生に向けた夜間開放、飲み食い自由) ・児童館の充実
住吉	・ひとり暮らしの方へのかかわり方が課題 ・地域活動に参加しにくい人への対応(障害者、ひとり暮らしの男性) ・社会福祉の充実、仕組みが問題(民生委員一人では1,300人はケアできない)	・自由に使える拠点(文化センターで子どもと高齢者の交流等) ・地域のニーズを拾う(アンケート、話聞く) ・誰が住んでいるか、困りごとを抱えているか情報共有が必要	・地域活動に参加しにくい人への対応(障害者、ひとり暮らしの男性)	・地域のニーズをひろう(アンケート、話聞く) ・誰が住んでいるか、困りごとを抱えているか情報共有が必要	・文化センターの活用(自由に使えるようにする、子どもの見守りをする等)	・自由に使える拠点(文化センターで子どもと高齢者の交流等) ・子ども食堂・フードバンク
是政	・アパートに住んでいる人、高齢者の情報が少ない ・高齢者が増えている、高齢者、ひとり暮らしの方の見守り	・高齢者支援の情報共有 ・個人情報の取扱いを柔軟にする	—	—	—	・放課後の子どもの居場所づくり ・ゴミ拾いの子ども中心の部隊を作る(はじめをなくす教育をする) ・学校・PTAの連携強化
四谷	・高齢者になっても地域で暮らす(ひとり暮らし高齢者の増加、高齢者世帯の増加、認知症の方の増加)	・地域居場所づくり(サロン、介護予防、自治会活動)	・精神疾患を抱えた人の集う場所がない	・交流の場をつくる(交流・サロン)	・子どもの見守りが重要、子育て支援が必要	—
西府	・高齢者が多い(見守りが課題、ひとり暮らしの方に向けた支え合い)	・助け合いができる雰囲気づくり	・若年性認知症、精神疾患の方の居場所がない	・拠点づくりの強化(課題を話し合う拠点、自治会館、公園等)	・子どもの登下校の見守りがいない	・地域で見守る(危険箇所、登下校時)
武蔵台	・高齢者夫婦のみ世帯、ひとり暮らしの方のつながり ・認知症の方の把握が必要	・ひとり暮らしについて見守り活動 ・空き家活用(高齢者食堂) ・見守りネットワーク	—	—	・子どもが少ない、遊び場が少ない	—
片町	・様々な高齢者問題(ひとり暮らし高齢者、店がないため買い物不便)	・ひとり暮らし高齢者のための居場所づくり ・高齢者の見守り	—	—	・子どもの見守り、安全 ・ひとり親世帯、母子家庭	・地域で子どもの安全を見守る(夜間見守り、地域パトロール) ・安全な環境をつくる、防犯パトロール

7 話し合いの結果まとめ

(1) 地域の課題（困っていること、課題を抱える人・世帯）

① 全ての地域から出た意見

- ◆地域のつながりの希薄化
- ◆地域の人がわからない、情報共有が課題
- ◆地域の担い手不足
- ◆自治会・町会等への加入者の減少
- ◆防災対策、災害要援護者の課題
- ◆高齢者のみの世帯や高齢の単身者のみの世帯増加、見守り・支援の課題
- ◆子どもの居場所・遊び場が少ない、見守りが必要
- ◆空き家の増加
- ◆道路が危険

② 複数の地域から出た意見

- ◆交流・居場所の不足
- ◆交通の便が悪い
- ◆買い物が不便
- ◆支援が必要な世帯がある
- ◆マナーが悪い

(2) 課題を解決するために地域できること

① 全ての地域から出た意見

- ◆交流・居場所づくり
- ◆情報提供・共有の仕組みづくり
- ◆防災・災害時対応

② 複数の地域から出た意見

- ◆見守り・生活支援
- ◆担い手の確保・育成
- ◆自治会・町会の活性化（団体同士の連携）
- ◆地域行事・イベントへの若者の参加促進
- ◆高齢者支援等
- ◆子ども・子育て支援等
- ◆資源の有効活用（空き家活用）等

(3) 分野別のまとめ

① 高齢者分野

- 全ての地域で意見があり、課題としては高齢者の増加、高齢者のひとり暮らし、高齢夫婦のみの世帯への対応、認知症の方への支援などについて意見が出され、課題解決のためにできることとしては、情報の共有、見守り、居場所づくり等が全体的に出された。

② 障害者分野

- 3つの地域で意見があり、課題としては精神疾患の方の居場所の少なさ、地域活動への参加のしにくさについて意見が出され、課題解決のためにできることとしては、どういった困りごとを抱えているかの情報共有や交流の場を作るといった意見が出された。

③ 子ども・子育て支援分野

- ほとんどの地域で意見があり、課題としては子どもの居場所の少なさ、見守りの必要性、ひとり親家庭の増加等について意見が出され、課題解決のためにできることとしては、居場所づくりや地域での見守りの強化、イベントの実施といった意見が出された。

※ また、複数の分野にまたがる課題として、災害時の要援護者支援、ひきこもり状態にある方への支援、8050問題等の意見が多く出された。

8 参加者アンケートの結果

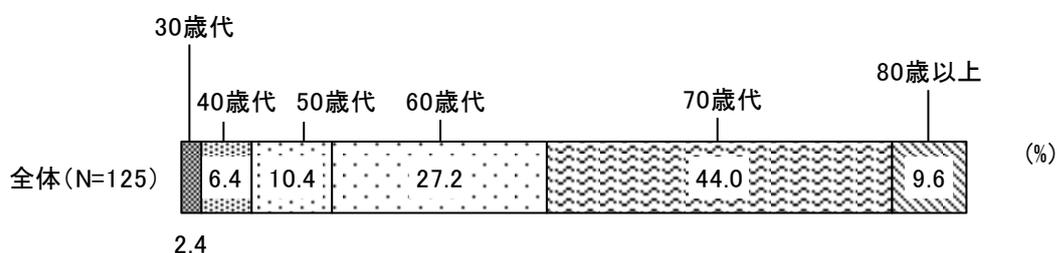
(1) 回収状況

- 回収数 125人分

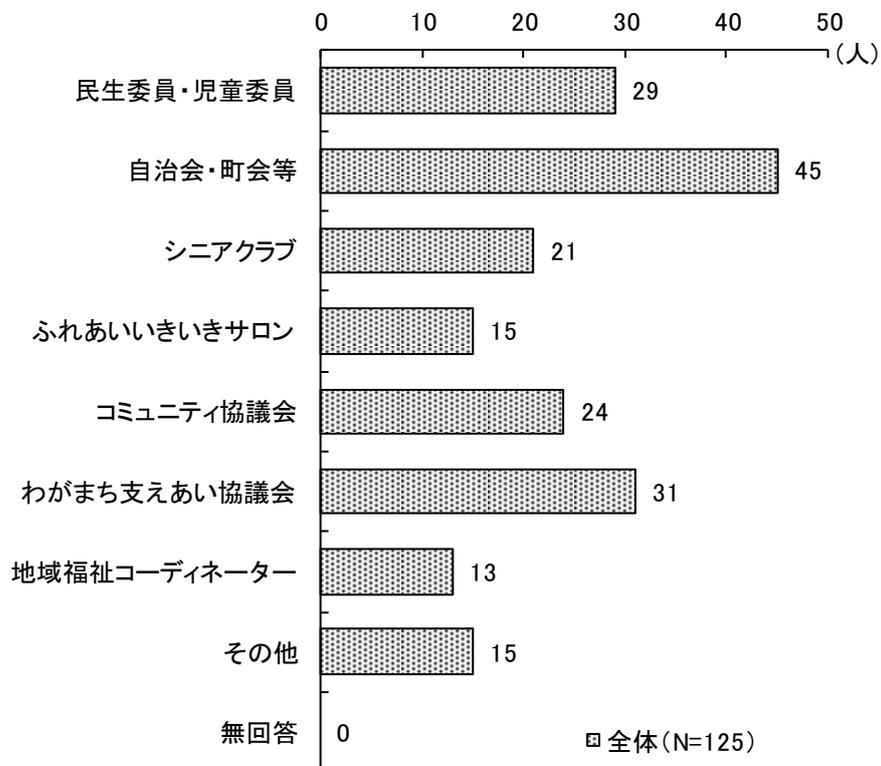
(2) 基本属性

- 参加者の年齢は、「70歳代」が44.0%で最も多く、「60歳代」が27.2%と続いている。
- 地域活動（所属団体）は、「自治会・町会等（45人）」が最も多く、「わがまち支えあい協議会（31人）」、「民生委員・児童委員（29人）」と続いている。

■年齢



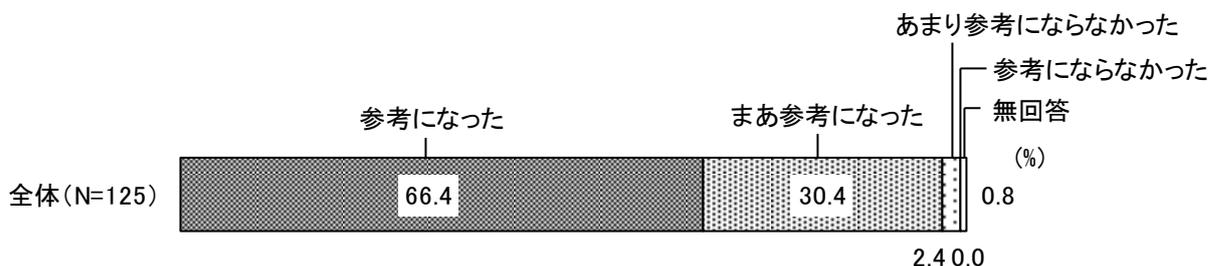
■地域活動（所属団体）：複数回答



(3) グループディスカッションに対する感想等

- グループディスカッションに参加して参考になった程度は、「参考になった」が66.4%、「まあ参考になった」が30.4%であり、合計すると96.8%が参考になったと回答している。
- 意見を書いて紙に貼りながら進める話し合いの方法の分かりやすさは、「分かりやすい」が52.8%、「まあ分かりやすい」が44.8%であり、合計すると97.6%が分かりやすいと回答している。
- 今後のグループディスカッションの開催の必要性は、「必要である」が80.8%、「わからない」が15.2%となっている。

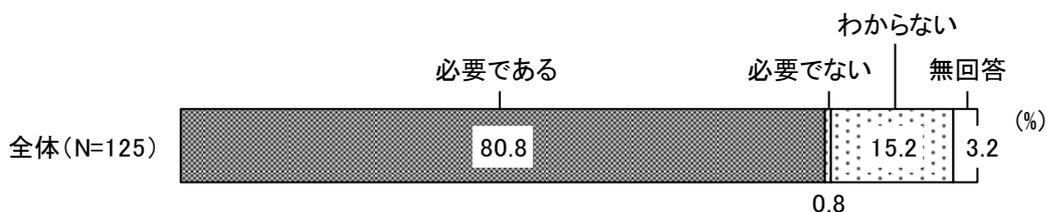
■グループディスカッションに参加して参考になった程度



■意見を書いて紙に貼りながら進める話し合いの方法の分かりやすさ



■今後のグループディスカッションの開催の必要性



(4) 主な感想・意見（自由記述）

■話し合いの内容について 23件

- ・ 地域の担い手がどこの地域でも不足している→活動を持続するのが難しい→解決するにはどうすればよいか改めて考えさせられた。地域で助け合いが永遠に続いてくれますように祈ります。
- ・ 地域の課題が明確になり勉強になりました。要望が理想ではなく実現されるとよいのですが、私自身、もっと地域に根ざしてできることがあるのではとがんばらなくてはと思いました。
- ・ 他の福祉団体でも同じようなことを行っているので連携も必要と思う。
- ・ 地域での悩みごとは、様々であることが分かった。悩みごとは、50%は共通していた。
- ・ 地域によって課題が異なることがわかりました。地域の方の生の声が勉強になりました。
- ・ 地域性が出ていて興味深かった。
- ・ 他地域の特性を知ることができよかった。
- ・ 地域差があることに気づいたが、一人暮らし高齢者の課題は多かった。
- ・ 課題を共有できてとてもよかった。高齢者の独食が心配でしたので空家の利活用をぜひ実施してほしい。

■グループディスカッションで出た意見の活用について 16件

- ・ グループディスカッションをしているので、なんとかこの意見を活かしてほしいと思います。
- ・ 今日のディスカッションで出てきた具体的な解決策をぜひ、少しずつでも実施に移していただきたい。
- ・ 話し合いで出た意見を具体化、実現をどうしていくかを煮つめる時間（会）も必要かと思う。実際、市の方へ意見が伝わって、とりあげてもらえるのかも知りたい。市行政側の人をもっと参加して意見を聞いてほしい。
- ・ 今日出た意見を十分に反映した福祉計画を作成していただきたいと思います。新しい課題にも勇気を持って取り組んでいただきたいと思います。
- ・ このディスカッションがこのままで終わらず、市政に必ず活かされるということなら、また協力したい。
- ・ 大変参考になりましたが、この結果をまとめていただいて配布していただけると有効に活用することができる。
- ・ とても有意義にいろんな意見を聴くことができ、とても勉強になりました。今後の地域活動に役立てたいと思いました。

■グループディスカッションの方法について 16件

- ・ 1つのテーマを決めて様々な立場の人が話しあえる場は有意義な場だと思います。
- ・ 広い枠、様々な団体、いろいろな立場の方々が直接話せる場は大事だと思います。もっと若い世代の方が来られる設定だといいかと思います。
- ・ 問題点の抽出で焦点が明確化できるため、よい方法だと思います。
- ・ 長々と意見交換するより有効な話ができると思います。自分の知らないことも書いた人に質問できますね。否定のない意見交換は意見が出やすくよかったと思います。

- 方法はよいが、もっと具体的な提案があると意見が出しやすい。漠然と「困っていること」では広すぎて、何をどう言えばいいのか難しい。「〇〇関係」といういくつかのテーマがほしかった。
- 内容を深められるように、問題ごとに（テーマごとに）各メンバーの意見を出すようにした方がよいと思う。

■参加しての感想 15件

- 地域活動されている方とのつながりが増えてよかったです。
- 大変勉強になり、言いたいことも言え、よかったです。
- 大変有意義でした。何よりも皆さんが地域とのかかわりに関心が高いとホッとしました。
- いろいろな人と話し合えてよかった。
- 活動領域が異なる人たちの意見を聞くことができよかったです。
- いろいろと自分たちが常日常、思っていたことを書くことができ（知らせること）有意義な会議ができてよかった。

■今後のグループディスカッションについて 9件

- 各種の切実な課題が話しあわれました。今後も今回のような話し合いは必要であるし、将来につながるものと思われます。
- グループディスカッションの時間が短い。次回は今回の話し合いを踏まえての話し合いがよいかと思えます。
- たいへん有意義でありました。今後も続けていただきたい。
- いろんな立場の方の話しが聞けてよかった。民生委員もたくさんではないが、いるので、ぜひ、また、こういう機会を開いてほしい。今日のこの結果をプリントで配布してほしい。民生でも勉強になります。